

参加無料

定員 100名

ビッグデータ×農業シンポジウム

~ ICT利活用で農業が変わる!~

【主 催】国立大学法人愛媛大学, 四国総合通信局

【共 催】四国情報通信懇談会

【後 援】日本生物環境工学会四国支部, 生態工学会中国四国支部, 農業情報学会施設生産情報部会

【開催趣旨】日本の農業を取り巻く環境は、少子高齢化、地方から都市部への人口流出、後継者不足、耕作放棄地の増加、TPP等への対応、放射線汚染等の新たな食への安心・安全ニーズの増大など、年々厳しさを増しています。また、世界的にも、人口の急増によって、食料の安定的確保が緊急の課題になっています。このような中で、愛媛大学は、これらの問題を解決する一つの方法として、先端的な情報技術や自動化技術を駆使して計画的に食料を生産する「植物工場システム」の研究開発に取り組んでいます。また、総務省においても、「ビッグデータの活用による農業の高度化」(平成25年度補正予算)として、民間企業と自治体等の連携による実証事業を行っています。今後、愛媛県等、四国各県においても、ICT利活用によって「高度化・高付加価値化した競争力のある農業」が実現することを期待して、本シンポジウムを開催します。



(愛媛大学植物工場研究センター副センター長・農学部教授)

主催者挨拶

大橋 裕一(愛媛大学 学長)

元岡 透(四国総合通信局 局長)

講演

❖総務省の取組紹介

ビッグデータがもたらす農業の高付加価値化·生産性向上 梶原 亮 (総務省情報流通行政局情報流通振興課課長補佐)

❖愛媛大学の取組紹介

スピーキング・プラント・アプローチ(SPA)と農業ICTに関する取り組み 羽藤 堅治(愛媛大学植物工場研究センター副センター長・農学部教授)

休憩(10分間)

植物生体情報計測味ずいによる太陽光植物工場の知能化高山 弘太郎 (愛媛大学農学部准教授・植物工場研究センター)

❖事例紹介:産業としての農業経営 ~農業の見える化~ ICTを活用した農業経営

新福 秀秋 (農業生産法人 有限会社 新福青果 代表取締役)

閉会挨拶

仁科 弘重

(愛媛大学植物工場研究センター長・農学部長)





平成27年

4/14[火] 13:30 ~16:15

愛媛大学 南加記念ホール

松山市文京町3



公共交通機関をお使い下さい。 【JR松山駅から】

- ❖伊予鉄道市内電車:環状線(古町方面行き)「赤十字 病院前」下車
- ❖伊予鉄バス:東西線「愛媛大学前」下車 【松山市駅から】
- ❖伊予鉄道市内電車:環状線(大街道方面行き)「赤十字病院前」下車

参加申込・お問合せ先

❖ 参加申込HP:

https://receipt.agr.ehime-u.ac.jp/~shikoku-soumu/mpmailec/form.cgi

❖ お問い合せ:四国総合通信局 情報通信振興課 TEL:089-936-5061

Email:shikoku-chousei@soumu.go.jp